

ASPROVA 導入事例ご紹介

 PT. INDONESIA NIKKA CHEMICALS

2021/4/14

会社紹介



PT. INDONESIA NIKKA CHEMICALS



- Indonesiaには1974年に進出
- 繊維の工程で精練から仕上げまで繊維加工の一連工程を網羅し、各工程や素材ごとに必要となる多種多様な薬剤を製造販売
- 界面活性剤の技術を活かし、繊維以外の分野にも事業展開
- 従業員数: 約140名

【会社名】 PT. Indonesia Nikka Chemicals




【所在地】 Karawang KIIC

導入の狙いと経緯

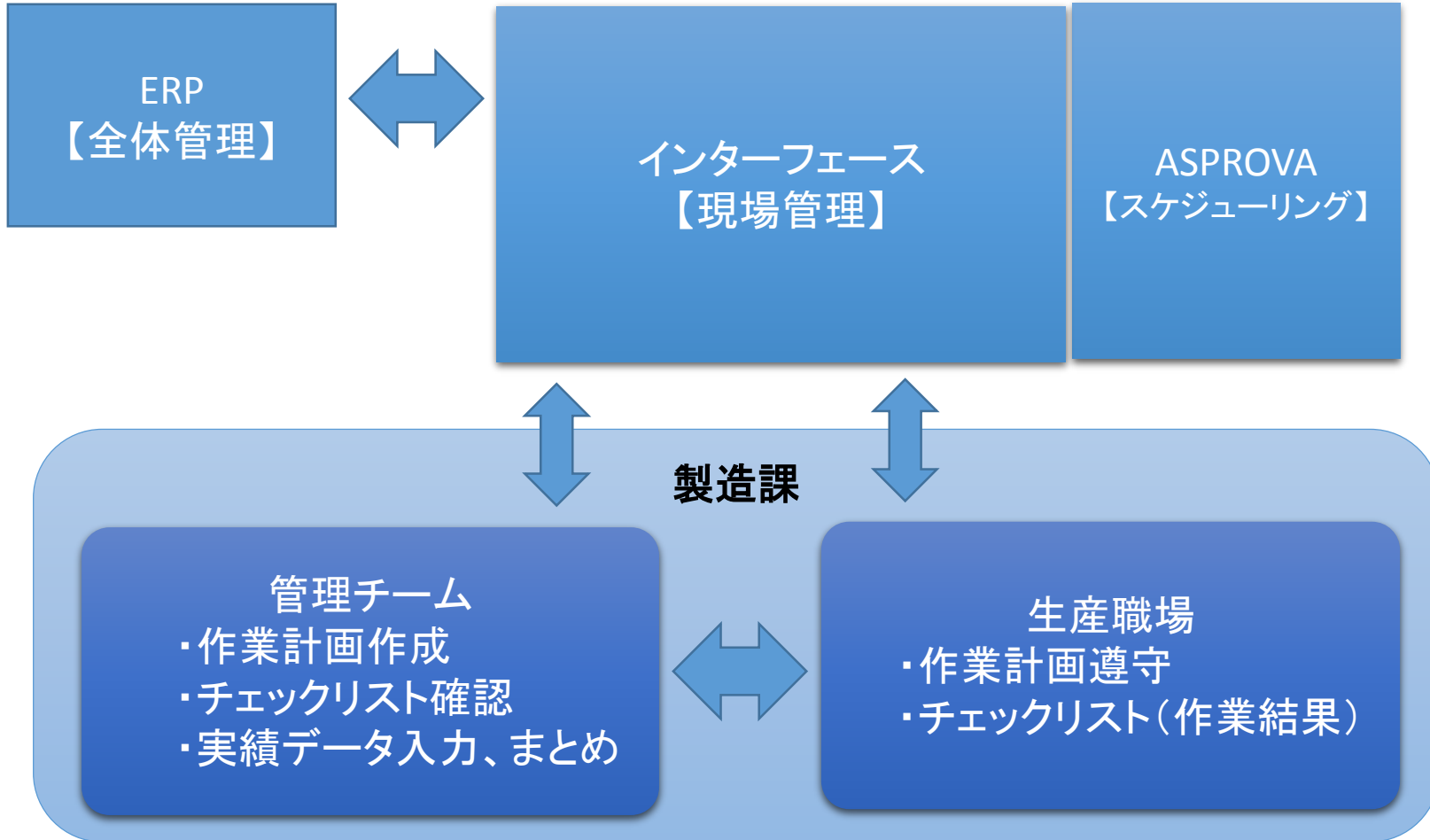
【作業計画のレベルアップ(精度)】

- 従来
 - 作業計画は現場のホワイトボードに現場係長が記入
- 問題
 - 多品種で多様な工程のため、計画精度に問題→生産性
 - 現場管理レベル



- 作業計画の精度を上げるためにスケジューラー導入を検討
- 
- 取引のあるIT会社にスケジューラーの開発を依頼
- 
- 個別に開発するより、ASPROVAを導入したらどうかと紹介された
- 
- 本格的なソフトで高機能でもあり、分不相応とも考えたが、将来の可能性を見込んで導入を決定

システム構成



- 日次作業計画をシフト毎に発行
 - モニターでも確認
- 生産はロット生産
- 生産ロット毎に作業指示書、工程標準書、実績記録表などが発行され、現場は結果を記録し、報告する


導入時の課題と現状

【導入時の課題】

- 工程データの入力でASPROVAとのマッチング
 - 導入支援コンサルタントに対応して頂いた
- 標準工数データが実績工数と差異(精度問題)があり、計画数値が実際より少なめに出てくる
 - ASPROVAの機能に含まれる係数補正で対応



【現状】

- ASPROVAで作成した作業計画通りの生産をトライアル
- 
- ASPROVAによる現場運用の習熟
 - 実績データの集積

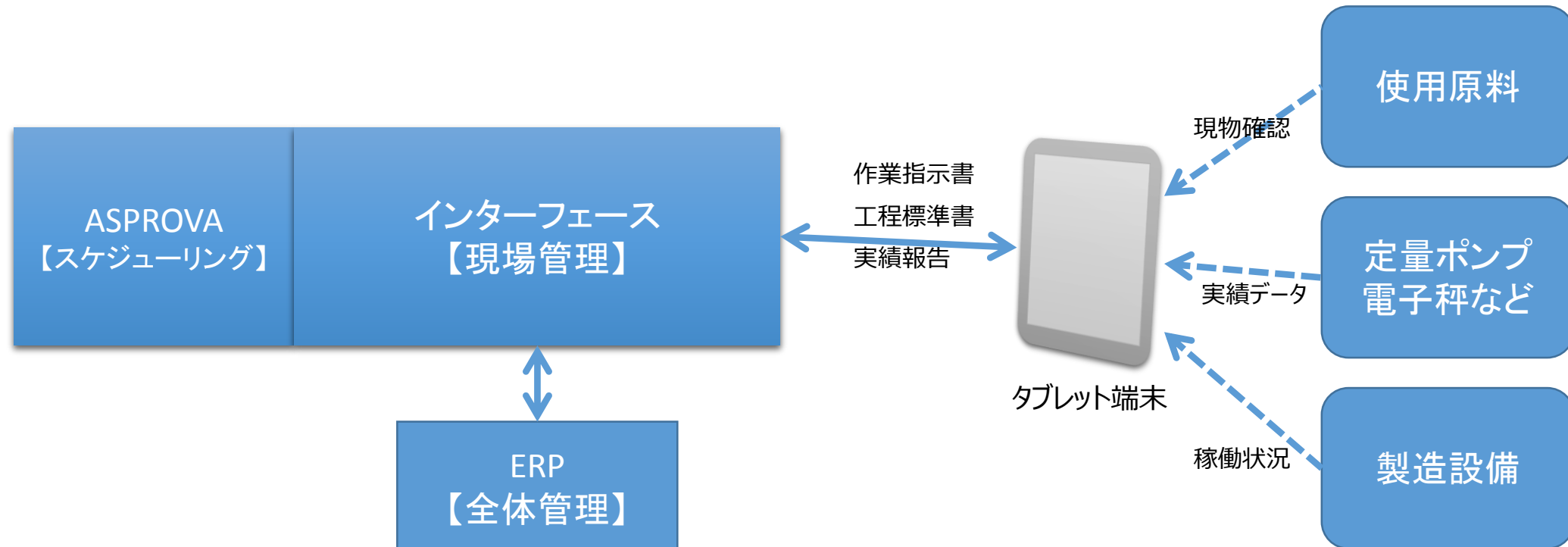
【継続使用のために・・・】

- ASPROVA計画精度の継続的向上
- ASPROVAを前提とした工程運用の仕組みのレベルアップ

今後の展開予定

【現場管理のIT化】

- タブレット端末を導入し、現場のペーパーレス化
- 各種確認作業の電子化を進める
- 各システム間のデータ転送の自動化



ASPROVAに対する要望

【インドネシアでの使用を踏まえて】

- マスターデータ入力などの容易化
- インドネシア語でのセミナー